

授業科目名 (英文名)	Reading and Discussion 1 英語 R D 1 (H 5)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	糟屋 美千子	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を読んで理解することができる 2) 上記の英語文の内容の趣旨や要点を表現することができる 3) 読解のための基礎的スキルを習得している		
講義内容・授業計画	英文で書かれた内容について理解し、自分でまとめることができるように、英文読解のための基本的文法事項、文の構造、語彙、慣用句などを習得し、読解のためのスキルを学習する。毎回の課題をこなし、予習復習をおこない、積極的に授業に参加することが求められる。 1. ガイダンス 2. Global Perspectives (テキストの理解) 3. Global Perspectives (意見の表現) 4. The Environment: Water (テキストの理解) 5. The Environment: Water (意見の表現) 6. Development: Poverty (テキストの理解) 7. Development: Poverty (意見の表現) 8. Development: Children (テキストの理解) 9. Development: Children (意見の表現) 10. Multicultural Society: Gender (テキストの理解) 11. Multicultural Society: Gender (意見の表現) 12. Action for Change: Shopping (テキストの理解) 13. Action for Change: Shopping (意見の表現) 14. Partnership (テキストの理解) 15. Partnership (意見の表現)		
テキスト	「 Living as Global Citizens 地球市民として生きる 」(南雲堂)		
参考文献			
成績評価の基準・方法	日常的な社会活動において必要となる英語文を読んで理解し、その趣旨や要点を表現することができるものに単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、SからCまで成績を与える。レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない		
備考			